



東二幼だより

どろんこ

学校法人 曾根学園
東二番丁幼稚園
令和2年度 11月号

街路樹の色が変わり始め、少しずつカラフルな街並みになってきました。運動会の余韻を十分に楽しんだ後はそれぞれ変装した姿で、学年関係なくおどかしたりおどかされたりしながら、手作りのお菓子のやり取りを楽しんでいます。幼稚園がかわいいおばけたちでいっぱいになり、みんなハロウィンごっこに夢中でした。

さて、11月は一段と秋が深まり、冷たい風も吹き始めます。落ち葉や木の実などを取り入れた遊びが豊富になり、体が温かくなるように体を動かす遊びも楽しむことでしょう。その楽しさや秋の自然をたっぷり取り入れた保育を行っていきたくと思っています。また、空気が乾燥し風邪を引きやすい時期でもあります。インフルエンザの流行のほかには今年も新型コロナウイルス感染の心配もありますが、今までのように手洗い・うがい・消毒を続け、様々なウイルスに負けないためにも朝ご飯をしっかり食べ、薄着で過ごせるようにみんなで心がけていきましょう。



年少組 園周辺散歩

ハロウィン

年少組 いもほり

にじ組和川匠くんのおうちからハロウィンで使う手作りの「ジャック・オー・ランタン」をいただきました♪

「運動会アンケート」ありがとうございました！

今年度は新型コロナウイルス感染防止対策を取りながらの開催となり、プログラム内容の変更や来場者の人数制限等々の措置を取らせていただきました。ご理解・ご協力をありがとうございました。

アンケートでは、ほとんどの方が「この状況の中、運動会を開催していただいたことに感謝します！」との記載があり、職員で知恵と工夫を出し合って実施できたことへの称賛をいただき、大変励みになりました。コロナ渦の中で開催し、結果的に良かった点もありました。アンケートにご記入いただいたご提言も含めて、来年度に活かしていきたいと思っております。

2日(月)は臨時休業日です

今年は11月1日が日曜日ですが、入園願書受付日となります。そのため、2日(月)を臨時休業日とさせていただきます。けやき組(預かり保育)もお休みとなりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

東二小ビル 総合避難訓練

〈日時〉6日(金)9:45~10:20
〈内容〉幼稚園・小学校・市民センター・児童館の合同避難訓練です。水消火訓練を体験する予定です。



いもほり遠足(年中・長組)

〈日時〉5日(木)10:00~11:00
〈場所〉宮城県農業高等学校(名取)
〈内容〉先日、雨天のため延期になったいもほりを楽しんできます。大型バスに乗り、出掛けます。昼食は園に戻り、給食を食べますので、水筒のみ持たせてください。お弁当は不要です。



第2回家庭学級

〈日時〉11日(水)9:45~11:00
〈場所〉青葉区中央市民センター2階 第1会議室
〈内容〉「やる気のもと。~自己肯定感を育むコツ~」
〈講師〉個別教室 家庭教師のアップル 畠山 明 先生

引き渡し訓練

6月実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため延期しておりました保護者の皆さんも参加の訓練です。大規模な大型地震が起きた場合を想定し、緊急時における園児引き渡しの訓練となりますので、緊急連絡用引き渡しカードにご記入の方のお迎えをお願いします。

〈日時〉11日(水)13:30~14:00

〈内容〉宮城県沖を震源地とする震度5強の地震が起こり、園児を安全に保護者の元へ引き渡すための全員参加の訓練です。

12:30頃 緊急メール送信

13:20頃 園児は園庭に整列し、迎えを待っています。

(クラス旗が目印です)

迎えに来た順に引き渡しますので、お子さんの名前を担当に教えてください。

その際、引き渡しカードに引受人と時間を記入していただきます。

※ 雨天の場合や気候によっては、各保育室での引き渡しとなります。メールでお知らせします。

※ 幼稚園では緊張感を持って訓練を実施いたしますので、保護者の皆さんも私語を控えていただき、実際に想定した訓練となるようご協力をお願いします。

※ 訓練後、預かり保育を利用する方や引き渡し訓練に参加できない方は、担任にご相談ください。



※ 寒くなり、上着を着用する機会が増えてきました。ジャンパーやコートを園児ロッカーのフックにかけやすいように、襟の後ろにループやひもをつけてください。子どもが自分でかけられるよう輪の大きさなど、工夫してください。

※ 登園時間を守っていただき、ありがとうございます。車での送迎の際、路上駐車をしている方が多く見られるようになってきました。いろいろな事情があるかと思いますが、園児の安全面を考えると、あまり好ましいとはいえません。また、その際に横断歩道を渡らずに道路を横切って送迎門に向かう方もいらっしゃいますが、こちらは大変危険です。必ず横断歩道を渡って大人がしっかりとマナーを守り、小さな命を守りましょう。

園長のひとりごと ~「昔話から学ぶもの」~

先日の人形劇鑑賞会は、子どもたちの大好きな昔話「三匹のこぶた」。ストーリーに魅了され大満足の子もたちでした。昔話は、人によって受ける教訓がそれぞれ違う。「三匹のこぶた」は「一人でできないことも知恵を出して力を合わせると何でもできる」(劇団からのメッセージ)という教訓として読む人が一般的かもしれない。

しかし、見方をちょっと変えてみると面白い。こぶたが家を作ること、これは親から離れて自分で生活をする、自立の第一歩である。ワラで家を建てた一番上のこぶたは、簡単で楽な方法を選択し、備えが甘い。自立していない幼少期から少年期の未熟さを表している。木で家を建てた二番目のこぶたは、少しはしっかりした木の家だが身を守るには不十分。十分確立していない少年期から青年期の自立過程。レンガの家で煙突から進入してきたオオカミをやっつけた三番目のこぶたは、自立した自我の知恵と勇気でオオカミから身を守った。こぶたを食べようとしたオオカミは何を象徴しているのでしょうか。自立に向かおうとする子どもの自我を阻止しようとする力の象徴ではないでしょうか。極端に言うと、自立しようとする子どもを取り巻く、大人や社会の非常識等です。このように、昔話を「子どもの心の自立・成長を語る」話としてとらえると、「三匹のやぎのらがらどん」はじめ、腑に落ちる昔話ももっと身近にありそうです。秋の夜長、子どもに昔話の読み聞かせはいかがでしょう。